

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870300690
法人名	医療法人 三善会
事業所名	グループホーム丸の内はとぼっぼ
所在地	宇和島市丸之内1-4-7
自己評価作成日	平成22年6月30日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年7月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

スタッフ主導ではなく、入居者の方中心の生活をして頂けるよう努力しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

この一年間、事業所では「利用者の思いに沿った支援」に力を入れて取り組んで来られた。職員は、利用者と一緒に暮らすようになった時等に、お話を引き出すように努め、その時言われた言葉をそのまま記録に残しておられる。又、以前に得意だったことをすすめる場合、できなくなっていてショックを受けることのないよう注意深くかわるようになっている。利用者は日によって体調や状態も違いがあり、事業所では、食事の準備には「できる方に、できる時、できることをしていただく」よう見極めて支援されている。魚屋が玄関先まで来てくれるようになっており、利用者も一緒に選んだり、調査訪問時には、食事後、下膳や食器洗いをされている利用者も見られた。外出時は、乗る車ごとに、レストラン等をそれぞれ決めて外食を楽しまれている。お誕生日には「お寿司とおこわ、どちらがいいですか」等、ご本人の好みも踏まえて選びやすいよう、希望を聞くようになっている。

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目: 23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目: 9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目: 18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目: 2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目: 38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目: 4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目: 36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目: 11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目: 49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目: 30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目: 28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム丸の内はとぼっぽ

(ユニット名) 白鳩

記入者(管理者)
氏名 清水 素美子

評価完了日 平成22年 6月 30日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価)	
			リビングに掲示して実践につなげている。	
			(外部評価)	
			「一人ひとりその人らしく生活できるように支援します」という基本理念とともに、ユニット別に「自由で楽しい生活」「自分らしく生きたい」と理念を掲げてケアに取り組まれている。管理者は、地域の中で「気軽に立ち寄っていただけるようなホームにしたい」と考えておられ、お遍路さんの接待等もされている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価)	
			<ul style="list-style-type: none"> ・学生さん・幼稚園の子供さんのボランティアを受け入れている。 ・自治会へ加入している。 	
			(外部評価)	
			地域に事業所のことを知っていただくために、自治会の方々に「地域密着型サービス事業所」の意義や目的をお話ししたり、年1回、ホーム便り「はとぼっぼ便り」を地域に回覧してもらっている。近くの教会の方や幼稚園児の訪問があったり、隣にコンビニができて、利用者も職員も、ちょっと出かけて買い物することができるようになったようだ。	管理者は「事業所が地域のために何ができるか」考えておられ、まずは「地域の老人クラブの方達と利用者が交流できないか、こちらから声をかけてみたい」と話されていた。利用者が地域とつながりながら暮らしていけるよう、地域の方達に認知症の理解を拡げたいような取り組みをすすめていかれてほしい。
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価)	
			<ul style="list-style-type: none"> ・地域の高齢者まで取り組むのは難しい。 ・ホーム便りを利用して活動を知ってもらうようにしている。 	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>2ヶ月に一度開催していて、意見をいただいている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>昨年9月から、自治会長や民生委員の方、ボランティアでホーム周囲を掃除してくださる方等にも、会議に参加していただけるようになった。防災組織「防災会」の情報をいただいたり、事業所の避難訓練時にも参加していただいた。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇和島市グループホーム連絡協議会に参加している。 ・介護相談員の来所により、サービスの取組みを見てもらっている。 	
			<p>(外部評価)</p> <p>運営推進会議では、市の担当者から避難緊急時に役立つ新聞等で作れる「簡易トイレ」の作り方を教えていただいた。介護相談員を受け入れておられる。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日中は施錠していない。 ・身体拘束をしないケアを実践をしている。 	
			<p>(外部評価)</p> <p>「利用者の自由を確保するために、ある程度のリスクが伴う」ことをご家族に説明し、了解していただいている。事業所では、ベッドから転倒するおそれのある場合は、ベッドを低くしたり、床にマットを敷く等されている。現在、夜間時、階段で転倒することを避けるための方策について、職員で検討をされているところである。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 知識として以前受けた虐待防止の資料を回覧しミーティングなどで情報を共有している。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 活用出来るように、主任を中心に支援している。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居時および退去時・そしてご家族の方が来所時に、できる限り理解して頂けるように努めている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ・入居者の方に耳を傾けるように努めている。 ・ご家族が来所時にお話出来るように努めている。 (外部評価) 毎月、ユニット別に便りを作成し、利用者の生活や行事の様子を知らせておられる。新しい職員が入ると、職員紹介欄に載せて、ご家族に報告されている。事業所の取り組みについてご家族の来訪時にご意見を聞くようにされている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			ミーティングで出た意見を主任がまとめ、月に一度の管理者会議に持って行き取り入れてもらえるようにしている。	
			(外部評価)	
			職員個々に気付いたことは、その都度主任に伝えたり、月1回のミーティングで話し合うようにされている。出された意見は、管理者から運営者に報告するようになっており、物干し場に屋根を付けてもらったり、テレビやDVDプレーヤーを購入されており、録画した歌番組を楽しむことができるようになったようだ。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			・希望休を取り入れてもらっている。 ・休憩も取れている。 ・個々の必要に応じてシフトを変更してもらっている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			職員の必要に応じて研修に参加出来るようになっている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			グループホーム連絡協議会の研修など参加している。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			・入居前にご自宅へ訪問させてもらい、関係作りに努めている。 ・ご家族やご本人さんからの情報に基づいて、困っていることへの支援に努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) ご家族からお話していただけるような関係作りができるように努めている。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 希望をできる限り取入れるように努めている。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 共に過ごし、支え合い生活できるように努めている。	
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族の意向を取入れながら、関係作りを築けるよう努めている。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) ・馴染みの美容室・お店などの利用への支援をしている。 ・毎週教会へ通って居られる方もいる。	
			(外部評価) お元気な頃の活動が少しでも続けられるよう、ご家族に相談しながら支援されている。又、友人の訪問の後には、話の内容によっては混乱されることもあるが、職員が同席してサポートし、馴染みの関係が続けられるように支援されている。ご自宅に地域の敬老会の案内が届いている場合は、ご家族のご意向もうかがい、参加できるよう職員が同行する等、支援されている。ご家族とお墓参りに出かける方もある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) ・孤立する時間がないように、入居者同士の関係を大切にしている。 ・リビングの席などの工夫をしている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退所後もご家族の方に立ち寄っていただいている。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) ご家族ご本人さんの言葉を大切にするようにしている。	
			(外部評価) この一年間、事業所では「利用者の思いに沿った支援」に力を入れて取り組んで来られた。職員は、利用者二人になった時等に、お話を引き出すように努め、その時言われた言葉をそのまま記録に残しておられる。又、以前に得意だったことをすすめる場合、できなくなっていてショック受けることのないよう、注意深くかかわるようにされている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 情報を収集し、共有するように努めている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) センター方式を活用してお一人おひとりの状態を共有している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	(自己評価)	
			<p>センター方式を活用してチームで作っていきけるように努めていきたいです。(担当制のため)</p>	
			(外部評価)	
			<p>介護計画にご本人やご家族の発した言葉をそのままに、意向欄に記載されていた。ご家族の来訪時に意見や要望を聞いて、ご本人の希望、ご家族の希望を計画に反映するようにしている。計画について3ヶ月に1回モニタリングを行い、変化がなければ6ヶ月毎に見直しをされている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	(自己評価)	
			<p>日々の生活をできる限り書き留めるように努めている。(センター方式を活用している)</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	(自己評価)	
			<p>ご家族・ご本人さんの希望・要望にできる限り対応している。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	(自己評価)	
			<ul style="list-style-type: none"> ・教会に通えるように支援している。 ・馴染みの美容室・お店などの利用への支援をしている。 	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) ご家族の協力にてかかりつけ医への受診ができてい る。	
			(外部評価) 利用者個々のこれまでのかかりつけ医に診てもらえる よう支援されており、ご家族が受診に付き添われた り、ご都合に合わせて職員が同行されている。白内障 の手術を受ける際、混乱等で数日入院することがむつ かしい方があったようだが、ご家族と眼科、事業所が 連携を取って手術ができるよう支援された。ご本人は 新聞や週刊誌が読めるようになったととても喜ばれて いるようだ。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 職員に看護師がいるので、相談できている。	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) ・情報交換や相談ができるように、主任を中心に支援 している。 ・入院時は交代でお見舞いに行き、職員で情報を共有 している。	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 何度も話し合いを行ない、状態によってできることへ の支援をしている。	
			(外部評価) 利用者個別に、状態変化時等、必要に応じてご家族と 終末期のあり方について話し合うようにされている。 「最期までここでいたい」と希望される利用者もある が、嚥下や呼吸の状態によって、事業所でできること が限られるため、入院を希望されるご家族が多い。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 年に一度消防署で、救命救急講習を受けている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年に二回避難訓練を行なっている。	
			(外部評価) 年に2回の避難訓練は、すべて夜間想定で実施されている。利用者には、居室で待機してもらい、2階は、ベランダまで職員一人が誘導する訓練をされている。前回の訓練から地域の方にも参加をいただき、外に避難した利用者が国道に出ないように見守りをしてもらった。6月にスプリンクラーを設置して、米やインスタントラーメン・水等の備蓄も用意されている。地域の「防災訓練」には利用者1名と職員で参加して、地域の方と防災意識を高められた。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 言葉使いや声の大きさに気を遣っている。	
			(外部評価) 地域に向けたホーム便り「はとぼっぼ便り」には、利用者の写真は使わないようにされている。職員は、利用者と親しくなっても「利用者の横にご家族がおられる」と思って、ご本人が不快に思うような声かけはしないよう、管理者は職員に伝えておられる。職員は、利用者の楽しい生活を支援するためには「笑顔が大切」と話しておられた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) ・自己決定ができるような声かけに努めている。 ・職員が決定してしまわないように努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) ・できる限り希望に添えるように見守っている。 ・その日の人員によって難しい時もあります。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) お化粧品や髪型などご本人の意見を聞いている。 お化粧品をしている方のスキンケアの支援をしている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しいものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) ・配膳・盛付け・その方のできることを、楽しみながら行なわれるようにしている。 ・調理や盛付けなど職員と協力しながら行える日もある。 (外部評価) 利用者は日によって体調や状態も違いがあり、事業所では、食事の準備には「できる方に、できる時、できることをしていただく」よう見極めて支援されている。魚屋が玄関先まで来てくれるようになっており、利用者も一緒に選んだり、調査訪問時には、食事の後、下膳や食器洗いをされている利用者もみられた。外出時は、乗る車ごとに、レストラン等をそれぞれ決めて外食を楽しまれている。お誕生日には「お寿司とおこわ、どちらがいいですか」等、ご本人の好みも踏まえて選びやすいよう、希望を聞くようにされている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) ・お一人おひとりの状態を共有できるように記録に残し、お粥にしたり、刻み食にしたりしている。 ・食事が進まない時などは高カロリーの飲み物を準備している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) ・毎食後口腔ケアの声かけと見守りを行なっている。 ・見守り・一部介助など行なっているが、歯科受診時には十分でない指摘を受けている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	<ul style="list-style-type: none"> センター方式の活用で一人のおひとりの排泄パターンを把握できるように努めている。 情報の共有にてトイレ誘導を行ない、自立支援につなげている。 	
			(外部評価)		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	<ul style="list-style-type: none"> 食事では食物繊維の豊富な食材を使用するように気をつけている。 水分量のチェックの必要な方には記録で残し、共有し水分量に気をつけている。 	
			(外部評価)		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	<ul style="list-style-type: none"> 安全を考慮して日中に入浴してもらっている。 お一人おひとりの入浴時間のタイミングや体調で入浴をすすめているが、難しい時は無理強いしていない。 	
			(外部評価)		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	ソファ・和室・居室など好きな場所で休まれている。	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) ・薬の管理は看護師が行なっている。 ・薬の変更があった場合は共有できるように、申し送りノートを活用して共有している。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) ・ピアノ・3B体操・カラオケ・塗り絵・箱作りなど ・お一人おひとりに出来ることへの支援に気をつけている。 ・気分転換のドライブ・買物・散歩は適宜行なっている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) ・散歩・買物にでがけるようにしている。 ・地域の人々の協力を得て出掛ける方も居られる。	
			(外部評価) 城山周囲を散歩する方や商店街に買い物に行く方等、お一人で出かける方もある。職員と車で買い物に出かけたり、車いすで散歩される方もある。外出を好まない方もあるが、最初からは目的を告げず、2階からお誘いする等工夫されており、車に乗って出かければ、その後は、とても喜ばれるようだ。和霊さんの夏祭りには、3日間出かけ楽しまれた。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) ご自分で財布を持っておられる方がいて、買物支払いの見守り介助を行なっている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) ・使用できる方は自由に使ってもらっている。 ・必要な方には見守り介助を行なっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	<ul style="list-style-type: none"> 音・光はその時々に合わせて変えている。 トイレは汚れたり、物が無くなったりしていたら整えるようにしている。 リビングには季節の飾りなどをしている。 	
			(外部評価)		
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価)	<ul style="list-style-type: none"> ソファ・和室などを利用できるようにしている。 リビングのテーブルの席は状態をみながら変更している。 	
(外部評価)	居室のベッド・たんす・テーブル・椅子は備え付けとなっている。他にテレビや仏壇を持ち込まれたり、入居前に作ったタペストリーやご家族の写真を飾っておられる方もあった。入居当初は、馴染みのものも多くあったが、転倒の危険性等、ご本人の状態に応じ、シンプルになってきているような居室もある。				
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	<ul style="list-style-type: none"> 使い慣れた枕・布団などを使っている方がいる。 使い慣れたエプロンを身に着けることなどで、気持ちよく生活ができるように声かけ見守りしている。 	
			(外部評価)		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)	<ul style="list-style-type: none"> トイレ・浴室・居室などに大きく表示している。 居室の整理・整頓など毎日様子をみながら、危険な状態がないかの確認を行なうようにしている。 	
(外部評価)					